

阿武隈急行線在り方検討会の設置

人口減少による利用者の減少に加え、度重なる自然災害やコロナ禍の影響、さらには、施設の老朽化に伴う修繕費の増加等により、厳しい経営状況にある阿武隈急行線について、赤字拡大を抑制するための抜本的な経営改善方策等について議論するため、「阿武隈急行線在り方検討会」を設置

阿武隈急行線沿線地域公共交通協議会 (平成30年4月設置)

[目的]

- ・地域公共交通活性化再生法に基づく**法定協議会**
- ・阿武隈急行線地域公共交通網形成計画（法定計画）の策定（令和元年7月）、進行管理等

[構成]

会長：福島大学 吉田樹教授

委員：阿武隈急行、交通事業者、住民代表、学識経験者、道路管理者、公安委員会、沿線自治体、東北運輸局等

専門的な調査・検討依頼

- 台風災害、地震災害、コロナ禍等により**経営健全化計画策定の見通しが立たない状況**
- 阿武隈急行線の経営に係る抜本の見直しのため、**専門的な調査・検討が必要**

抜本的な経営改善策等を提案

阿武隈急行線再生支援協議会 (平成17年2月設置)

[目的]

- ・経営健全化計画の策定
- ・経営健全化計画に基づく経営支援（公費負担）の協議

[構成]

会長：伊達市長

委員：阿武隈急行、沿線自治体

報告



設置

【分科会】（令和5年1月設置）

阿武隈急行線在り方検討会

【検討事項】

- ①原因解明
- ①増収策（利用促進策等）
- ②経営体制の変更（上下分離方式等）
- ③民間人の常勤役員起用
- ④輸送モードの合理化（バス転換等）
- ⑤運行ダイヤの合理化
- ⑥車両更新数
- ⑦経常経費の妥当性
- ⑧その他経営改善に資する取組

- 令和7年3月までの約2年間で順次結論を取りまとめ
- 提案事項は、経営健全化計画等へ反映され、阿武隈急行(株)が履行することを沿線自治体の支援継続の要件とする

阿武隈急行線在り方検討会 これまでの議論の経過

開催日時	検討内容等
第1回 R 5.3.29	○阿武隈急行線の現状について
第2回 R 5.5.25	○阿武隈急行線の現状について ・区間別利用状況、ダイヤ別利用状況 ・駅勢圏人口の推定、行政計画その他まちづくりの状況 ○車両更新について
	R 5.5.26 福島県側区間現地調査 ・保原駅、福島駅、福島学院大学
	R 5.7.21 福島県側区間現地調査 ・保原町工業団地懇話会、伊達高校
第3回 R 5.8.3	○現地調査の結果について ○駅別乗降人員の状況について ○車両更新数について ○収支改善のために必要な一日当たりの収益について
	R 5.8.4 宮城県側区間現地調査 槻木駅、角田駅、丸森駅、角田高校、 東北本線船岡駅、常磐線坂元駅

阿武隈急行線在り方検討会 これまでの議論の経過

開催日時	検討内容等
第4回 R 5.10.5	○現地調査の結果について ○運行ダイヤの合理化について ○車両更新数について
	R 5.11.21 鉄道における課題解決・施策設計に関する勉強会 講師：阿武隈急行線在り方検討会 山田 和昭 委員
	R 5.11.29 県境区間現地調査 丸森駅～富野駅 乗降調査、アンケート調査
第5回 R 6.1.18	○現地調査の結果について ○経営方式の変更について ○阿武隈急行線の現状について ・区間別利用状況、ダイヤ別利用状況、駅勢圏人口の推定 ○福島県側の利用者減少原因、ダイヤ改善について
第6回 R 6.5.31	○車両更新について ○輸送モードの宮城県側検討状況について
第7回 R 6.11.11	○輸送モードについて ○車両更新について ○経営改善策検討の方向性について